

あおぞら

発行：愛知県被災者支援センター
住所：名古屋市中区三の丸 3-2-1
愛知県東大手庁舎 1階
TEL：052-954-6722
FAX：052-954-6993
開館：月～金 10～17時



タイトル「こぜにいれ」



コメント： しろのこぜにいれは、ボタンのかわりにすずにしたのをくふうしました。
私と、パパと、ママの分を作っとうまくできたー？と思いました。

ニックネーム あーりん

<表紙に掲載する私の1点、1枚を募集しています>

あおぞらの表紙にあなたの作成した作品を掲載してみませんか？興味が湧いたらご連絡ください。

①作品のタイトル ②説明（30字程度）③掲載するお名前 ④年齢 ⑤連絡先（氏名・メールアドレスまたは電話番号）を明記のうえ、メールまたはFAX、郵送にてお送りください。

<編集委員募集のお知らせ>

月に一度発行している「あおぞら」は、愛知県被災者支援センターのスタッフとボランティアの方がたで協力をして発行しています。あなたも編集委員になってみませんか？

<発送作業のボランティア募集>

定期便発送作業のボランティアに参加してみませんか？

※先々月から定期便が月1回に変わっています。必要な情報については、別で臨時便として郵送させていただきます。

10月25日便の予定			お問合せ・お申込み
封入作業	10月24日(火)	午後	愛知県被災者支援センター
発送作業	10月25日(水)	午前	TEL：052-954-6722（渡邊）

支援制度紹介①【愛知県】（法テラス（日本司法支援センター））

法テラスとは

国によって設立された法的トラブル解決のための「総合案内所」です。お困りごとに応じて、問題を解決するための法制度や手続き、適切な相談窓口を無料でご案内します（情報提供業務）。また経済的に余裕がない等一定の要件に該当する方には、無料法律相談をご案内します（民事法律扶助業務）。

※弁護士・司法書士に依頼する場合は費用の立替えができます。（原則有料ですが、免除となる場合もあります）

●申込みについて

事前の予約が必要となります。お近くの法テラスへお問い合わせください。

●無料の法律相談（民事法律扶助業務）

1回の相談は30分間程度、1つの問題につき3回まで受けることができます。

●相談内容

- ・一般相談（離婚、相続、損害賠償、金銭トラブル、不動産など民事全般）
- ・サラ金、クレジット相談
- ・司法書士相談（事件額140万円以下の民事事件）
- ・高齢者、障害者出張法律相談
- ・外国人法律相談（在留資格のある外国人の方の民事に関する法律相談）

●法テラス窓口

法テラス愛知

所在地 〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-8 栄サンシティービル15階
電話 0503383-5460 ※IP電話を使用しています。
情報提供受付 平日9:00~12:00、13:00~16:00（土日・祝日及び年末年始を除く）

法テラス三河

所在地 〒444-8515 岡崎市十王町2-9 岡崎市役所西庁舎（南棟）1階
電話 0503383-5465 ※IP電話を使用しています。
情報提供受付 平日9:00~12:00、13:00~16:00（土日・祝日及び年末年始を除く）

※この他にも次の場所で民事法律扶助制度による無料法律相談を実施しています。

受付方法等につきましては、あらかじめ法テラスへお電話でお問合せください。

- ・愛知県弁護士会名古屋法律相談センター
- ・愛知県弁護士会岡崎法律相談センター
- ・愛知県弁護士会豊橋法律相談センター

支援制度紹介②【愛知県】（法テラス（日本司法支援センター））

●震災法律援助

震災特例法が延長されました。それに伴い法テラスの震災援助業務についても平成30年3月31日まで延長する旨の法律が成立しました。東日本大震災に際し、災害救助法が適用された区域に平成23年3月11日に居住していた方等を対象として、民事法律扶助制度の収入要件にかかわらず無料で法律相談を行う制度です。また、震災による法的問題解決を弁護士・司法書士が支援します。費用は立替えできます。（原則有料ですが免除となる場合もあります）

※例えば、こんなときにも利用いただけます。

- ・東京電力（株）への「請求書」の作成や交渉を弁護士等に依頼したいとき
- ・「原子力損害賠償紛争解決センター」への申立てを弁護士等に依頼したいとき

●震災関連専用ダイヤル

震災 法テラスダイヤル

電話 0120-078309（PHS・IP電話からもつながります）

※利用料・通信料：0円

※受付時間：平日9:00～21:00、土曜日9:00～17:00

オペレーターが、お悩みの法的トラブルに関する法情報や、その他の法制度をご案内します。各種相談窓口の中から適切な窓口をご紹介します。

※弁護士や司法書士による個々のトラブル等に応じて法的判断を行い、解決策をアドバイスする相談とは異なりますのでご注意ください。

●外国語話者の方へ（多言語情報提供サービス）

英語、中国語、韓国語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、タガログ語を話される方から0570-078377（おなやみナイナイ）にお電話をいただくと、通訳を介して、日本の法制度や相談窓口情報をご紹介します。



English



中文



한국어



Español



Português



Tiếng Việt



Tagalog

●法テラス・サポートダイヤル

法テラスの専門オペレーターが、お問い合わせ内容に応じて、法制度や相談機関・団体等をご紹介します。

法的トラブルでお困りの方は

電話 0570-078374（IP電話からは03-6745-5600）

犯罪被害にあわれた方は

電話 0570-079714（IP電話からは03-6745-5601）

※利用料：0円・通話料：全国一律3分8.5円（税別）

※受付時間：平日9:00～21:00、土曜日9:00～17:00

支援制度紹介③（はぐみんカード・ぴよかカード）

便利でお得な「はぐみん（ぴよか）カード」。子どもに同伴している保護者の方も利用できます！

利用対象者：18歳未満の子ども&その保護者、
妊娠中の方

※18歳になった年度の3月31日まで有効

利用方法：はぐみん優待ショップ（協賛店）で
「はぐみん（ぴよか）カード」を提示

特典内容（例）：習い事の入会金が半額
家族5人の博物館入館料が半額
スーツ販売店の商品5%引き
ポイントカードのスタンプ2倍

※年齢や利用日に条件がある場合があります。

全国で使えます！

愛知県「はぐみんカード」や福島県「ファミたんカード」をはじめ、41道府県のカードが全国で使えます。ただし、全国共通展開のロゴマークがあるカードに限ります。（対応していない店舗もあります）



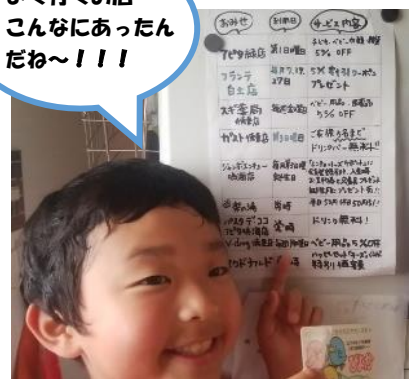
はぐみん（ぴよか）カード使ってる？ 使えてる？

名古屋市に移住し、区役所からいただいた“ぴよか”カード。持っていないながら、実際のところあまり活用できていませんでした…。娘の幼稚園のママさんたちもしかり。「持っているけど使ったことがない」「使おうと思っても利用日がわからない」などなど。

この機会にどんなお店で使えるのか調べてみたところ、我が家の生活圏でもサービスを受けられるところが結構ありました！ただ、お店によって利用できる日が週に1回だったり、月に1回だったりと感じきれません。そこで、よく利用するお店と利用日、サービス内容を書き出し、冷蔵庫に貼ってみました。しかもカレンダーの横なので、とても分かりやすく、これならせつかくのサービスを逃さずに利用できそうです♪ぜひ皆さんもやってみてください。なお、ぴよかが使えるお店は、お店の入り口やレジなどにぴよかマークが貼ってありますので、ぜひお見逃しなく！！（緑区 T.S）



よく行くお店
こんなにあったんだね〜!!!



【“ぴよか”が使えるよく行くお店一覧】



検索サイト：「あいちはぐみんネット」のホームページ内、
「はぐみん優待ショップ検索」をクリック。



この画面から、地域やジャンルを選択し検索。

愛知県内の協賛店

この画面から、「愛知県の協賛店舗・施設」をクリック。

他都道府県の協賛店

検索サイト：

「名古屋市子育て応援サイト」ホームページ内、「協賛店を探す」をクリック。



名古屋市内の協賛店

※はぐみん（ぴよか）カードは、お住まいの市町村（子育て支援課など）で配布しています。

支援団体紹介（東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや）

平成 23 年 3 月 11 日発生した東日本大震災によって、名古屋市内に多くの方が避難されました。その方々の困りごとに対して、ボランティアによる生活支援を行うことや、必要な情報を提供しています。また、被災地支援のためのボランティア活動を希望する方に対して、必要な情報提供をすることを目的に、名古屋市が同年 4 月 14 日に名古屋市総合社会福祉会館「福祉のひろば」に、「東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや」を開設しました。このセンターは、市社会福祉協議会・なごや防災ボラネット（各区の災害ボランティア団体等が加盟）が協力して運営しています。今まで、多くのボランティアさんに関わっていただきました。

当初は、支援物資などの提供品も多くあり、各区のボランティアさんに個別に訪問していただいたり、配達をしていました。そのなかで、皆さまから「避難者同士の交流の場が欲しい」というご要望があり、平



<餅つきの様子>



<大学を会場にサロン実施>

成 24 年 8 月から、「お茶っこサロンなごや」を始めました。名古屋を知っていただけるように、市内 16 区を巡回しました。

今年 7 月までの全 50 回の参加者は、延べ 550 世帯 1,300 名を超えました。今年度は、3 回開催と回数は減りましたが、その分企画を工夫して、楽しい集まりにしたいと思っています。名古屋市にお住まいの皆さん、初めての方の参加もお待ちしています！

平成 28 年末には、住宅の無料提供も終了して、帰られる方が多いかな？と思いましたが、名古屋に住まいを決められた方も多く、これからも長いお付き合いになりそうです。「お茶っこサロン」の回数は減ってきましたが、ボランティアセンターはまだ続いていますので、何か困りごとがありましたら、いつでもご連絡ください。最近では、メールで問い合わせをいただくことも増えてきましたが、お電話でも FAX でも結構です。

問い合わせ：東日本大震災被災者支援ボランティアセンターなごや

〒462-8558

名古屋市北区清水四丁目 17 番 1 号 名古屋市総合社会福祉会館 5 階

名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンター内

TEL 070-5587-7153（平日 9：00～17：00）

FAX (052) 917-0702 Email: shien-vc@nagoya-shakyo.or.jp

ホームページ <http://www.nagoya-shakyo.jp/higashinohon/vc.html>



交流会①（ユース・プロジェクト京都）

特定非営利活動法人 和（京都）では、7月30日～8月1日まで、避難を経験した子どもたちを全国よりお招きした「ユース・プロジェクト京都」を開催しました。

思春期に加え、避難を経験したことで、さまざまな思いをし、新しい土地でどのように社会性を作っていくのか…。子どもたちには子どもたちの葛藤や苦労、または喜びもあったことと思います。

今回は、自分の言葉で、自分の現状や思いを互いに語り、それを受け止めて聴く大人や少し先輩世代の学生との交流を持つことで、自分と向き合い、人に伝えることの難しさと楽しさ、自分の経験や思いを受け止めてもらえる体験を大切にする合宿を企画しました。愛知県被災者支援センター、レスキューストックヤードの皆さまにも広報に協力していただき、おかげさまですぐに定員いっぱいとなりました。

初日には、緊張や移動の疲れもあったのか、初対面のメンバーと距離を取りつつのスタートでしたが、夕方にはすっかり打ち解けた様子でした。メインの企画は、「傾聴僧の会」のお坊さんのファシリテーションによるワークです。「人間とは何だろう？」ということをし、さまざまな角度から考えました。それぞれに個性豊かな思考や回答があり、それをわかりやすく伝えることの難しさと、受け止めてもらえることの



<傾聴僧とともにワークショップ>



<宿泊した宇多野ユースホステルとUSJ>

楽しさを体験してもらえたように思います。

お楽しみとして、ユニバーサルスタジオジャパン（USJ）にも行き、お目当てのアトラクションで目いっぱい楽しみました。帰りのバスの中で、自然と今住んでいる地域の話になり、地域性のある「数え歌」の話でとても盛り上がりました。「福島ではこうだったけれど、今住んでいるところではこんな風に言うんだよ」「私のところでは違うよ」「おもしろいね!」と違いを楽しむ様子が見られたのが印象的でした。

後日いただいたお手紙には、本当に楽しかったこと、宿泊先で同じ部屋の人と同じ境遇のことを語り合えたことにほっとした、などの声が寄せられました。震災と避難を経験した子どもたち。胸の内にはさまざまな思いがあると思います。大人が無理に聞かなくても、子どもたち同士でいろいろなことを語り合った様子も見られました。自分をそのまま受け止めてもらえるような、そして日本中に仲間がいる感じがするような、温かい気持ちになってもらいたい。そんな願いで過ごした3日間でした。

愛知エリアからご参加くださった方、送り出してくださったご家族の方、広報や運営にご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。

交流会②（ユース・プロジェクト京都）

「ユース・プロジェクト京都」に参加して

まず私が「ユース・プロジェクト京都」に参加したきっかけは、同じ避難してきた友達で同年代の人が周りにはあまりいなくて、同年代の友達が欲しいと思っていたところ、中高生の人を対象に話し合いの場があると知ったからです。

次に「ユース・プロジェクト京都」に参加した第一印象は、すごいみんな静かで、話せるかな…と思いました。でも時間がたつにつれて、場が和んでいったり、同じ県に住んでいる人に話しかけられるようになっていって、楽しくなっていました。またワークでは、もっと震災のこととかを話すのかと想像していたのですが、いろんなことを考えて、さらにそれを広げていくってことをしました。そういったことをあまりしたことがなかったので、とても新鮮な気持ちでした。
(ペンネーム：RT)

7月30日から8月1日にかけて、「ユース・プロジェクト京都」というイベントに参加しました。最初は西本願寺の施設でのワークや、3日目の京都観光に興味を持ち参加を決定しましたが、当日が近づいてくるにつれて、全国から集まる同年代の避難者の皆さんと話せることも次第に楽しみになっていった記憶が、まだ残っています。

古都の風を感じながら他の参加者の方々との交流を楽しむことができた、非常に充実した3日間となりました。このような機会を設けてくださった皆さんに心から感謝しています。

(ペンネーム：えだまめ)

この夏、「ユース・プロジェクト京都」に参加し、いろいろなことを体験できました。初めてユニバーサルスタジオジャパンに行ったり、新京極で買い物したり、とても楽しいことばかりでした。

最初は、友達できるかなと心配でしたが、皆いい人ばかりでした。福島や山口から来ている人もいました。部屋では、地震で引っ越してきたからの悩みとかを話すことができ、とてもうれしかったです。

スタッフの方々には、とても感謝しています。本当にありがとうございました。また来年も参加したいです。

(ペンネーム：りな)



支援センターからのお知らせ

<10月の交流会等イベントカレンダー>

開催日	イベント名	開催地域
10月1日(日)	ふくしま交流会	豊橋市
10月9日(月・祝)	愛知労福協・連合愛知 Presents ミュージカル「KINJIRO!～本当は面白い二宮金次郎～」	中村区
10月11日(水)	豊田自動織機チャリティコンサート2017	刈谷市
10月14日(土)	第61回囲碁クラブ交流会	東区
10月14日(土)	なごやであそび隊 ～名古屋港水族館へ行こう!～	港区
10月14日(土)～ 10月15日(日)	犬山の子どもと交流しましょう!!	犬山市
10月29日(日)	気軽にお茶飲み交流会(岩手県宮城県交流会)	東海市

<編集後記>

- ★自宅の居間で鈴虫が鳴いている。実際は鈴虫のオスが羽を震わせ、リーンリーンと涼やかな音を発する。暑さにめげず健気で、療養中の病人を励ましている。メスが卵を持つと、オスはメスに食べられてしまう。卵を産んだメスも秋にいなくなり、次の春に新しい命がかえって、命の循環が廻っていく。(K.T)
- ★おもちゃインストラクター養成講座を受講しました。頭を使えば身近にあるもので、遊び道具をたくさん作ることができます。(J.I)
- ★公害などで大きく騒がれる事故が起きると必ず被災者が分断される施策が実行される。人はいつも寄り添いながら生きていくものなので分断されると弱い。逆に言えば寄り添い～助け合い～支え合い～励まし合い～こういう関係を作ることで生きていけるし、乗り越えられる。(H.T)
- ★猪鼻(いののはな)。聞いたことがありますか?香茸(コウタケ)というきのこの地方名です。伊能忠敬が四国?を測量した帰途、立ち寄った挙母(今の豊田市)で出され、その美味に感動したようです。この季節を象徴する食の便りです。私達の故郷のものはもう食べることができないのかもしれませんが…寂しすぎませんか?(H.I)
- ★つゆ草の青い汁が友禅染の下絵を描くときに使われているのをご存知ですか?たくさんの花びらの青い汁を和紙に染み込ませたものを岩絵の具のようにして使うとのこと。後の柄付けには響かないようです。昔の人の知恵ですね。果たして私達の知恵は…?要るものと要らないものとを峻別(しゅんべつ)すべき時機ですね。(A.I)
- ★熱田神宮にある草薙剣(くさなぎのつるぎ)は有名ですが、福島市信夫山にも日本武尊(ヤマトタケルノミコト)の大蛇退治伝説があります。(T.N)
- ★夏休みの間も学生ボランティアのお世話になる機会が多くありました。いただいた優しさや経験を、息子が大きくなったら年下の子たちに伝えて欲しいなと思います。(Y.Y)
- ★夏の甲子園で仙台育英高校サヨナラヒットの打者、馬目郁也くん。三男と勿来の海で遊んだ仲でした。天国のお父さんも喜んでいてのことでしょう。よかった!(E.K)

あおぞらに関する
ご意見ご感想はこちら



〒460-0001 名古屋市中区三の丸3-2-1 愛知県東大手庁舎1階
愛知県被災者支援センター TEL: 052-954-6722
FAX: 052-954-6993 Mail: aozora@aichi-shien.net